

安全保障関連法案の廃案を求める次の文書を、関係機関に送付しました。

大家連発 第27号

平成27年8月26日

衆議院議長 大島理森様
参議院議長 山崎正昭様
内閣総理大臣 安部晋三様
内閣官房長官 菅 義偉様
外務大臣 岸田文雄様
防衛大臣 中谷 元様
厚生労働大臣 塩崎恭久様

公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会

会長 倉町公之

(公印)

安全保障関連法案を廃案とされることを求めます

現在、参議院において「安全保障関連法案」の審議が行われています。

私たち精神障害者の家族は、この法案が成立することがないよう強く望んでいます。

先の第2次世界大戦において、精神障害者を始めとする障害者は、社会的に役立たない「穀つぶし」「非国民」とさげすまれ、差別され、抑圧されてきました。餓死するなどの事例もあったと聞いています。また、アメリカではベトナム戦争に参戦した兵士に、多くの自殺者やPTSD（心的外傷後ストレス障害）患者が発生したと報じられています。

障害発生最大の原因は戦争による暴力です。戦争と障害者のしあわせは絶対に両立しません。

この法案の内容と最近の自衛隊の動向を見ると、わが国が「戦争をする国」に逆戻りするのではないかと、との危惧を抱かざるを得ません。

国会では憲法学者や元法制局長官が、この法案は憲法に反すると指摘しています。また、全国の多数の憲法学者、日本弁護士連合会、全国の大学の教員と学生もこの法案の違憲性を訴えて成立に反対しています。

世論調査では、国民の6割がこの法案に反対し、8割が説明不足と言っています。

私たち精神障害者の家族は、これまで70年間戦争のない平和な日本を保証し続けていた「憲法9条」の理念を守り続けることを願い、この法案を廃案とされることを強く求めます。